

「川崎市総合計画」第1期実施計画 総括評価結果に対する市民意見募集の結果について

川崎市では、この度、「川崎市総合計画」第1期実施計画（H28～H29）の総括評価結果を8月末に公表し、市民の皆様から意見の募集を行いました。その結果を取りまとめたので、報告いたします。

1 意見募集の概要

（1）募集期間

平成30年8月29日（水）～10月1日（月）

（2）周知方法

ア 市政だより（9月1日号）

イ 案内チラシ（区役所、図書館、市民館、行政サービスコーナー等で配布）と冊子（図書館、区役所等で配架）を公表

ウ 市ホームページ（「川崎市総合計画」第1期実施計画 総括評価結果及び市民意見募集について」のページ）

（3）意見提出方法

市ホームページ意見募集フォームメール、郵送、FAX、持参

2 意見募集の結果等

2名の市民の方から2件の意見が寄せられました。
主な内容としまして、施策・事務事業の方向性に対する提言などがありました。

【意見募集の結果一覧】

提出者数	意見数			合計
	1 施策・事務事業に関するもの	2 政策評価の手法に関するもの	3 その他意見募集の趣旨に沿わないもの	
2名	2件	0件	0件	2件

3 意見の要旨及び市の考え方

(1) 施策・事務事業に関するもの(2件)

No.	意見等の要旨	意見等に対する市の考え方
1	<p>公園について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多摩区は他の地区と比べて公園が少なく、整備も行き届いていないように思う。孫が小さい頃は、わざわざたまプラーザや都内の公園に遊びに行ったりもした。近くの公園はごみが捨てられていたりして、子どもを遊ばせるには危ないようにも思う。子どもたちが安心して、思い切り遊べるような公園がもっと増えるよう要望する。 	<p>子どもたちの遊び場や市民の休息の場となる身近な公園の整備につきましては、川崎市緑の基本計画において小学校区を構成する町丁目の3分の2の数の公園を整備することを目標にしております。多摩区内においても、目標に達していない小学校区があることから、その解消に向けて今後も取組を進めてまいります。</p> <p>また、公園内の日常的な清掃につきましては、地域の皆様や管理運営協議会、公園緑地愛護会などのボランティアの方々にご協力をいただいているところでございますので、今後もボランティアの方々との協働の取組により、快適に公園緑地を利用できるように努めてまいります。</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ひとり当たりのごみの排出量が減っているとのことだが、本当に十分なのか。 ・ごみの収集日を守らない人が非常に多く、常にごみが出されている集積所もある。 ・ごみの分別ができていない。段ボールが普通ゴミの日に出されている。 ・川崎市の分別は他都市と比べて進んでいるのか。 ・市政だよりなどだけではなく、イベントの機会を活用するなど、行政でもっと効果的な啓発を行う必要がある。 	<p>本市では、市民や事業者の方々のご協力をいただきながら、ごみの発生抑制の取組などを進め、1人1日あたりのごみ排出量は政令市の中で4番目に少なく(H28比較)着実に減量が図られておりますが、2025年度の目標(898g以下)の達成に向けて取組をさらに進めていくことが必要と考えております。</p> <p>ごみの減量化・資源化やまち美化をさらに促進していくためには、一人ひとりの意識の高まりが重要であり、150万人を超える多様な市民に対して、ターゲットを絞った効果的な広報や分別ルールの周知などを行ってまいりたいと考えております。これまで、小学校での「出前ごみスクール」の実施や、市民まつりでの3R推進の普及広報、啓発リーフレットによる周知などに取り組んでまいりました。今後におきましても、さらなる効果的な広報を行っていくとともに、地域におけるごみの減量とリサイクルのボランティアリーダーである廃棄物減量指導員と連携したごみ排出ルールの周知などの取組を進めてまいります。</p>